図書館だより

10月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

□印　休館日
月曜日・祝日(10日)
月末館内整理日(29日)

今月の新刊図書案内

一般図書

まついなつきのパソコン　まついなつき
こんなんできまっせ
全図解モノの呼び名がわかる事典　中村三郎
イエス・キリストの大予言　コンノケンイチ
江戸の道楽　棚橋正博
悩みが大きい人ほど、強い人になれる　二見道夫
ソ連が満洲に侵攻した夏　半藤一利
罪なくして罰せず　中坊公平
ニッポンの舞台裏　吉田　司
怪物弁護士・遠藤誠の事件簿　遠藤　誠
倒産は必ず防げる　岩井義照
老親介護こんなときどうする？　川島淳子
中高生のSOSそのとき大人は？　志方俊之
最新・極東有事　関谷　透
帰宅拒否
ある日突然、妻が痴ほう症になった　内藤　聡
花火の科学　細谷政夫
電動工具徹底利用術　荒井　章
机の上で飼える小さな生き物　木村義志
使い切りカメラでまるごと楽しむ　楠山忠之
私の日本音楽史　団伊玖磨
渥美清の伝言
マイカー登山のススメ　松倉一夫
パン先生の北京味の旅行会話　潘　薇
イエローページ吉本ばなな　木股知史
漣の家　赤瀬川隼
神様のボート　江國香織
父　小林恭二
夢顔さんによろしく　西木正明
白夜行　東野圭吾
幽(かすか)　松浦寿輝
ゴールド・マウンテン　リサ・シー
ジャイアンツ・ハウス　エリザベス・マクラッケン
島暮らしの記録　トーベ・ヤンソン
外二三三冊

児童図書

おばけは本当にいるの？
世界と出会う日本の歴史　1―6
さよならサティルン
ゾウも飼いたいワニも飼いたい
カボチャの絵本
も～さんのおもしろ工作ランド
魔女にきた星文字のてがみ
河を歩いた夏
おれのかあちゃん流れ星
ぼくも変身できるかもしれない
スカイ・メモリーズ
てんてんむし
ぼくがおおきくなったらね
ナガナガくん
ぼくはいろいろしってるよ
外八一冊

市立図書館 今月の一冊

『クイズきまりことば』

よこたとくお　作・画　あかね書房

文章にも日常会話にもよく使われ、日本語の中で重要な言葉である「きまりことば」。おもしろいクイズをときながら、きまりことばが覚えられる。また関連したきまりことばも多数収録し、辞典としても利用できる一冊。

『田舎の事件』

倉阪鬼一郎　著　幻冬舎

恐怖と笑いは表裏一体。含み笑いから爆笑まで、「七色の笑い」が楽しめる笑殺必至の13編を集めた、ミステリー連作短編集。

心の健康シリーズ(78)

子育てと家庭のあり方

どんな子どもに育てるかは、どんな家庭を作るかによって決まると言われますように子育てには「家庭のあり方」が重要なのです。子どもから見て良い家庭とは、安心して食事ができ、安心して眠ることができ、安心して遊ぶことができるところです。

そして、家庭に笑いがあり、家の中がいつも明るいようなら、子どもには理想的な環境であると言えましょう。

母親は、子どもを生むと授乳やオムツのとりかえ、泣く子をあやすなど、一つの生命を育てるという大変な仕事をするため、集中力がある反面、つい主観的になりがちです。父親は、母親に比べ子どもに対し距離をおき、物事を客観的に見ることができるのです。

また、母親は感性で物をとらえることが上手ですが、父親は理論的なことは上手にできるという性差を持っています。

このことから、男と女の性差を認識し、その上で夫婦が互いに理解し合うことによって夫婦の信頼と愛が高まっていくのです。こういう夫婦によって作られた家庭こそが、子どもにとって住み良い家庭環境になるのです。

そうすれば、自然と家の中も明るい、笑いの絶えない楽しい家庭となるのです。

次に、住み良い家庭環境づくりに心がける中で子どもとの接し方が大切です。子どもは厳しすぎると、物を言わなくなってしまい、甘やかして育てると、だらしなく親につきまとい自立できません。

そこで、厳格即寛容な態度が必要と言われます。

例えば、遊園地などに行ったとき、他の子が楽しく遊んでいるブランコを無理やり自分がとって乗ろうとしたのを見つけたら「何するの！」と目を見すえて大きな声で厳しく叱ります。そして、その場を離れたり、他の子がいなくなったら、「さっきは怖かったでしょう。もう、あんなことしないわね」などと優しさのこもった言葉をかけてあげましょう。

この言葉かけが大事なところです。叱られた、いやな感じを子どもがいつまでも心に残しておかないためにも、できるだけ早い時間に優しい言葉をかけて、押しつぶされそうな心を軽くし、優しさにふれることで自分の非を素直に認める気持ちにしてあげましょう。

子どもが「うちのお母さん(お父さん)は厳しいけど優しいよ」と言ったりしたら、あなたの子どもに接する態度はまず合格だと思って良いでしょう。

子どもへの接し方(叱り方)が悪かったら子どもの心は親から離れて外での出来事も隠すようになってしまいます。

子どもの悩みごとは
教育相談室へ
(八朔屋台展示庫前)
月～金　午前9時～
午後4時30分
☎(43)1323